

決算短信補足資料

(2019年3月期 第2四半期決算)

2018年10月29日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	対前年		2018年3月期 通期実績	2019年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/31) 予想	今回(10/29) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
【連結】										
営業収益	7,271	7,369	+98	101.4	15,004	15,255	15,165	+160	101.1	▲ 90
営業利益	1,112	1,133	+20	101.9	1,913	1,875	1,875	▲ 38	98.0	-
経常利益	1,026	1,058	+31	103.1	1,777	1,740	1,740	▲ 37	97.9	-
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	678	564	▲ 113	83.3	1,104	1,110	955	▲ 149	86.4	▲ 155
【単体】										
営業収益	4,854	4,846	▲ 8	99.8	9,762	9,880	9,790	+27	100.3	▲ 90
運輸収入	4,336	4,317	▲ 19	99.6	8,678	8,780	8,710	+31	100.4	▲ 70
営業費用	3,947	3,896	▲ 51	98.7	8,319	8,430	8,340	+20	100.3	▲ 90
人件費	1,091	1,081	▲ 9	99.1	2,214	2,170	2,165	▲ 49	97.7	▲ 5
物件費	1,835	1,834	▲ 0	100.0	4,076	4,265	4,200	+123	103.0	▲ 65
動力費	222	221	▲ 1	99.5	440	465	455	+14	103.2	▲ 10
修繕費	669	632	▲ 37	94.5	1,614	1,725	1,665	+50	103.1	▲ 60
業務費	942	979	+37	104.0	2,021	2,075	2,080	+58	102.9	+5
減価償却費	668	643	▲ 25	96.2	1,368	1,365	1,345	▲ 23	98.3	▲ 20
営業利益	906	949	+42	104.7	1,443	1,450	1,450	+6	100.4	-
経常利益	811	870	+58	107.2	1,286	1,310	1,310	+23	101.8	-
四半期(当期)純利益	558	459	▲ 99	82.2	807	895	740	▲ 67	91.6	▲ 155

2.単体損益計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 2Q累計実績 A	2019年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,854	4,846	▲ 8	99.8
運輸収入	4,336	4,317	▲ 19	99.6
その他収入	518	528	+10	102.1
営業費用	3,947	3,896	▲ 51	98.7
人件費	1,091	1,081	▲ 9	99.1
物件費	1,835	1,834	▲ 0	100.0
動力費	222	221	▲ 1	99.5
修繕費	669	632	▲ 37	94.5
業務費	942	979	+37	104.0
線路使用料等	150	135	▲ 14	90.1
租税公課	202	202	▲ 0	99.8
減価償却費	668	643	▲ 25	96.2
営業利益	906	949	+42	104.7
営業外損益	▲ 94	▲ 78	+15	83.2
営業外収益	13	24	+11	-
営業外費用	108	103	▲ 4	-
経常利益	811	870	+58	107.2
特別損益	▲ 7	▲ 221	▲ 214	-
特別利益	34	88	+54	-
特別損失	42	310	+268	-
四半期純利益	558	459	▲ 99	82.2

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2019年3月期 2Q累計実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線		2,272	+45 (102.0%)	基礎トレンド(101.9%)	+42	
				特殊 要因	・インバウンド	+8
					・多客期好調	+10
					・大阪北部地震	▲ 4
					・平成30年7月豪雨	▲ 21
					・台風21号・その他	+7
	等					
在 来 線	近畿圏	1,522	▲34 (97.8%)	基礎トレンド(99.3%)	▲ 10	
				特殊 要因	・インバウンド	+4
					・多客期好調	+2
					・大阪北部地震	▲ 4
					・平成30年7月豪雨	▲ 15
					・台風21号・その他	▲ 14
		等				
	その他	522	▲30 (94.5%)	基礎トレンド(99.4%)	▲ 3	
				特殊 要因	・インバウンド	+1
					・多客期好調	+1
					・大阪北部地震	▲ 1
					・平成30年7月豪雨	▲ 26
					・台風21号・その他	▲ 3
		等				
在来線計		2,045	▲64 (96.9%)			
運輸収入計		4,317	▲19 (99.6%)			

※ 荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)			2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)		
	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年	2018年 3月期	2019年 3月期	対前年
全社計	4,336	4,317	▲ 19 99.6%	2,225	2,179	▲ 45 97.9%	29,881	29,742	▲ 138 99.5%	15,214	14,992	▲ 222 98.5%
新幹線	2,226	2,272	+45 102.0%	1,153	1,175	+21 101.9%	10,407	10,548	+140 101.3%	5,408	5,472	+64 101.2%
定期	54	56	+1 103.6%	27	28	+0 103.4%	431	447	+15 103.6%	215	222	+6 103.1%
定期外	2,172	2,215	+43 102.0%	1,126	1,146	+20 101.8%	9,976	10,101	+125 101.3%	5,193	5,250	+57 101.1%
在来線	2,109	2,045	▲ 64 96.9%	1,072	1,004	▲ 67 93.7%	19,473	19,194	▲ 279 98.6%	9,806	9,519	▲ 286 97.1%
定期	722	720	▲ 1 99.7%	359	356	▲ 2 99.3%	11,803	11,751	▲ 51 99.6%	5,800	5,753	▲ 46 99.2%
定期外	1,386	1,324	▲ 62 95.5%	713	648	▲ 65 90.9%	7,670	7,442	▲ 227 97.0%	4,005	3,765	▲ 240 94.0%
近畿圏	1,556	1,522	▲ 34 97.8%	782	746	▲ 35 95.5%	15,211	15,079	▲ 131 99.1%	7,599	7,468	▲ 130 98.3%
定期	594	594	+0 100.0%	295	294	▲ 0 99.9%	9,678	9,661	▲ 17 99.8%	4,764	4,748	▲ 15 99.7%
定期外	962	927	▲ 34 96.4%	486	452	▲ 34 92.8%	5,532	5,418	▲ 114 97.9%	2,835	2,720	▲ 114 95.9%
その他	553	522	▲ 30 94.5%	289	258	▲ 31 89.0%	4,261	4,114	▲ 147 96.5%	2,206	2,050	▲ 155 92.9%
定期	128	126	▲ 2 98.4%	63	61	▲ 1 97.0%	2,124	2,089	▲ 34 98.4%	1,036	1,005	▲ 30 97.1%
定期外	424	396	▲ 28 93.4%	226	196	▲ 30 86.7%	2,137	2,024	▲ 112 94.7%	1,170	1,044	▲ 125 89.3%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

科目	2019年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,081	▲ 9 (99.1%)	・単価差 等
動力費	221	▲ 1 (99.5%)	
修繕費	632	▲ 37 (94.5%)	・災害復旧優先に伴う設備投資関連工事等の 工程調整 等
業務費	979	+37 (104.0%)	・豪雨災害に係るバス代行経費 等
線路使用料等	135	▲ 14 (90.1%)	・JR東西線 等
租税公課	202	▲ 0 (99.8%)	
減価償却費	643	▲ 25 (96.2%)	・償却進捗 等
営業費用計	3,896	▲ 51 (98.7%)	

※「平成30年7月豪雨」の災害復旧に要する費用については、215億円を「災害損失引当金繰入額」として特別損失に計上。

6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 2Q累計実績 A	2019年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	7,271	7,369	+98	101.4
営業費用	6,158	6,236	+78	101.3
営業利益	1,112	1,133	+20	101.9
営業外損益	▲ 85	▲ 74	+10	87.5
営業外収益	26	33	+7	—
営業外費用	111	108	▲ 3	—
経常利益	1,026	1,058	+31	103.1
特別損益	▲ 13	▲ 227	▲ 214	—
特別利益	51	92	+40	—
特別損失	64	319	+255	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	678	564	▲ 113	83.3
四半期包括利益	701	584	▲ 117	83.3

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2018年3月期 2Q累計実績 A	2019年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	7,271	7,369	+98	101.4
運輸業	4,727	4,713	▲ 14	99.7
流通業	1,175	1,196	+20	101.8
物販・飲食	802	838	+36	104.5
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【56】	【62】	【+5】	【110.5】
百貨店	330	315	▲ 15	95.3
不動産業	687	692	+5	100.7
ショッピングセンター	291	300	+8	102.9
不動産賃貸・販売	385	381	▲ 3	99.0
【不動産販売】(再掲)	【171】	【159】	【▲ 12】	【92.6】
その他	681	768	+86	112.8
ホテル	176	165	▲ 10	94.1
旅行	193	184	▲ 8	95.7
営業利益 ^{*1}	1,112	1,133	+20	101.9
運輸業	835	878	+42	105.1
流通業	33	29	▲ 3	88.5
物販・飲食	32	26	▲ 5	82.9
百貨店	▲ 0	1	+2	-
不動産業	198	182	▲ 15	92.1
ショッピングセンター	44	47	+3	108.4
不動産賃貸・販売	103	106	+2	102.1
その他	32	29	▲ 2	90.8
ホテル	8	0	▲ 8	3.1
旅行	▲ 7	▲ 6	+1	85.5

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2019年3月期2Q累計実績			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	838	+36	104.5	・セブン-イレブン提携店舗好調 等
		営業利益	26	▲ 5	82.9	
	百貨店	営業収益	315	▲ 15	95.3	・自然災害、リニューアル工事支障 等
		営業利益	1	+2	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	300	+8	102.9	・ルクア1100 B1,B2リニューアル 等
		営業利益	47	+3	108.4	
	不動産賃貸・販売	営業収益	381	▲ 3	99.0	
		営業利益	106	+2	102.1	
その他	ホテル	営業収益	165	▲ 10	94.1	・三宮ターミナルビル閉館、自然災害 等
		営業利益	0	▲ 8	3.1	
	旅行	営業収益	184	▲ 8	95.7	・国内旅行軟調 等
		営業利益	▲ 6	+1	85.5	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2018年3月期 期末 A	2019年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産*	30,718	31,241	+522
負債*	19,555	19,747	+192
純資産	11,163	11,493	+330
長期債務残高	10,322	10,739	+417
【長期債務平均金利(%)】	【1.86】	【1.83】	【▲0.03】
新幹線債務	1,038	1,033	▲4
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	5,249	5,649	+400
【社債平均金利(%)】	【1.58】	【1.55】	【▲0.03】
自己資本比率(%)*	33.2	33.7	+0.5
1株当たり純資産(円)	5,273.42	5,471.86	+198.44

	2018年3月期 2Q累計実績 A	2019年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	996	935	▲60
投資活動によるキャッシュフロー	▲627	▲810	▲183
フリーキャッシュフロー	369	125	▲244
財務活動によるキャッシュフロー	▲237	212	+449
現金及び現金同等物の増減	140	337	+197
現金及び現金同等物の期末残高	773	1,352	+578

*「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

10.単体業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/31) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,762	9,880	9,790	+27	100.3	▲ 90
運輸収入	8,678	8,780	8,710	+31	100.4	▲ 70
その他収入	1,084	1,100	1,080	▲ 4	99.6	▲ 20
営業費用	8,319	8,430	8,340	+20	100.3	▲ 90
人件費	2,214	2,170	2,165	▲ 49	97.7	▲ 5
物件費	4,076	4,265	4,200	+123	103.0	▲ 65
動力費	440	465	455	+14	103.2	▲ 10
修繕費	1,614	1,725	1,665	+50	103.1	▲ 60
業務費	2,021	2,075	2,080	+58	102.9	+5
線路使用料等	302	275	275	▲ 27	91.0	-
租税公課	357	355	355	▲ 2	99.3	-
減価償却費	1,368	1,365	1,345	▲ 23	98.3	▲ 20
営業利益	1,443	1,450	1,450	+6	100.4	-
営業外損益	▲ 157	▲ 140	▲ 140	+17	89.1	-
営業外収益	62	75	75	+12	-	-
営業外費用	219	215	215	▲ 4	-	-
経常利益	1,286	1,310	1,310	+23	101.8	-
特別損益	▲ 92	▲ 20	▲ 250	▲ 157	-	▲ 230
特別利益	298	-	-	-	-	-
特別損失	390	-	-	-	-	-
当期純利益	807	895	740	▲ 67	91.6	▲ 155

11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2019年3月期 通期見通し								
		対前年	主な増減要因		対前回					
新幹線	4,555	+77 (101.7%)	基礎トレンド(101.4%)		+64	+7				
			特殊 要因	・インバウンド	+18					
				・多客期好調	+9					
				・大阪北部地震	▲ 4					
				・平成30年7月豪雨	▲ 21					
				・台風21号・その他	+7					
				等						
			在来線	3,073	▲17 (99.4%)		基礎トレンド(99.7%)		▲ 9	▲ 47
							特殊 要因	・インバウンド	+11	
								・多客期好調	+2	
・雪害反動	+3									
・大阪北部地震	▲ 4									
・平成30年7月豪雨	▲ 15									
・台風21号・その他	▲ 14									
等										
その他	1,081	▲29 (97.3%)				基礎トレンド(99.3%)		▲ 7	▲ 30	
						特殊 要因	・インバウンド	+3		
			・多客期好調	+0						
			・雪害反動	+5						
			・大阪北部地震	▲ 1						
			・平成30年7月豪雨	▲ 27						
・台風21号・その他	▲ 3									
等										
在来線計		4,154	▲46 (98.9%)		▲ 77					
運輸収入計		8,710	+31 (100.4%)		▲ 70					

※ 荷物収入は金額些少のため省略

12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2019年3月期 通期見通し			
		対前年	主な増減要因	対前回
人件費	2,165	▲ 49 (97.7%)	・単価差 等	▲ 5
動力費	455	+14 (103.2%)	・燃料費調整額増 等	▲ 10
修繕費	1,665	+50 (103.1%)	・設備投資に伴う撤去工事等の増 ・構造物対策経費増 等	▲ 60
業務費	2,080	+58 (102.9%)	・豪雨災害に係るバス代行経費 ・システム関連経費増 等	+5
線路使用料等	275	▲ 27 (91.0%)	・JR東西線 等	—
租税公課	355	▲ 2 (99.3%)		—
減価償却費	1,345	▲ 23 (98.3%)	・償却進捗 等	▲ 20
営業費用計	8,340	+20 (100.3%)		▲ 90

13.連結業績予想

(単位：億円)

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/31) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	15,004	15,255	15,165	+160	101.1	▲ 90
営業費用	13,090	13,380	13,290	+199	101.5	▲ 90
営業利益	1,913	1,875	1,875	▲ 38	98.0	—
営業外損益	▲ 135	▲ 135	▲ 135	+0	99.4	—
営業外収益	90	86	86	▲ 4	—	—
営業外費用	226	221	221	▲ 5	—	—
経常利益	1,777	1,740	1,740	▲ 37	97.9	—
特別損益	▲ 71	▲ 70	▲ 300	▲ 228	—	▲ 230
特別利益	328	—	—	—	—	—
特別損失	399	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,104	1,110	955	▲ 149	86.4	▲ 155
1株当たり当期純利益 (円)	570.72	573.33	495.68	—	—	—

14.連結業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

	2018年3月期 通期実績 A	2019年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/31) 予想 B	今回(10/29) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	15,004	15,255	15,165	+160	101.1	▲ 90
運輸業	9,508	9,620	9,530	+21	100.2	▲ 90
流通業	2,398	2,448	2,448	+49	102.1	—
物販・飲食	1,617	1,670	1,670	+52	103.3	—
【宿泊特化型ホテル】（再掲） ^{*2}	【116】	【127】	【127】	【+10】	【109.0】	—
百貨店	701	691	691	▲ 10	98.6	—
不動産業	1,396	1,478	1,478	+81	105.8	—
ショッピングセンター	596	607	607	+10	101.8	—
不動産賃貸・販売	781	851	851	+69	109.0	—
【不動産販売】（再掲）	【350】	【407】	【407】	【+57】	【116.4】	—
その他	1,700	1,709	1,709	+8	100.5	—
ホテル	356	361	361	+4	101.3	—
旅行	413	419	399	▲ 14	96.5	▲ 20
営業利益 ^{*1}	1,913	1,875	1,875	▲ 38	98.0	—
運輸業	1,303	1,306	1,306	+2	100.2	—
流通業	72	57	57	▲ 15	78.1	—
物販・飲食	60	44	44	▲ 16	72.3	—
百貨店	9	10	10	+0	101.1	—
不動産業	357	334	334	▲ 23	93.3	—
ショッピングセンター	87	85	85	▲ 2	97.5	—
不動産賃貸・販売	173	156	156	▲ 17	89.7	—
その他	199	211	211	+11	105.7	—
ホテル	19	14	14	▲ 5	70.5	—
旅行	2	3	3	+0	109.6	—

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2019年3月期 通期見通し				
			対前年		主な増減要因	対前回	
			増減	比率(%)			
流通業	物販・飲食	営業収益	1,670	+52	103.3	・セブン-イレブン提携店舗新規出店 等	—
		営業利益	44	▲ 16	72.3	・宿泊特化型ホテル開業経費 等	—
	百貨店	営業収益	691	▲ 10	98.6	・リニューアル工事支障 等	—
		営業利益	10	+0	101.1		—
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	607	+10	101.8	・広島ekie開業平年度化 等	—
		営業利益	85	▲ 2	97.5		—
	不動産賃貸・販売	営業収益	851	+69	109.0	・販売戸数増、賃貸物件開業 等	—
		営業利益	156	▲ 17	89.7	・賃貸物件新規開業費用 等	—
その他	ホテル	営業収益	361	+4	101.3		—
		営業利益	14	▲ 5	70.5		—
	旅行	営業収益	399	▲ 14	96.5	・国内旅行軟調 等	▲ 20
		営業利益	3	+0	109.6		—

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

16. 諸元表

(単位：人、億円)

	2018年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 2Q累計実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期予想(10/29)
連結ROA (%) ^{*1}	3.7	3.7	6.3	6.0
連結ROE (%)	7.0	5.4	11.3	9.1
連結EBITDA ^{*2}	1,916	1,920	3,561	3,532
連結減価償却費	798	781	1,635	1,645
連結設備投資 (自己資金)	593	794	1,694	2,720
単体設備投資 (自己資金)	417	604	1,278	2,100
安全関連投資	284	384	832	1,270
1株当たり配当金 (円)	80	87.5	160	175

	2018年3月期 2Q累計実績		2019年3月期 2Q累計実績		2018年3月期 通期実績		2019年3月期 通期予想(10/29)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	47,814	25,381	48,219	24,976	47,869	25,291	—	—
金融収支	▲ 101	▲ 96	▲ 91	▲ 81	▲ 202	▲ 196	▲ 193	▲ 176
受取利息・配当金	3	8	7	18	7	12	7	22
支払利息	105	104	99	99	209	208	200	199

*1 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を2018年3月期期末の貸借対照表残高に遡及適用しております。

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2018年10月29日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2018年10月29日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>